

## 認定施設認定委員会

委員長：三鍋 俊春

委員：漆館 聡志、小川 令、垣淵 正男、亀井 讓、木股 敬裕、  
古川 洋志、力丸 英明

開催年月日：①平成 27 年 10 月 8 日：新委員就任後の委員会業務確認

②平成 28 年 2 月 9 日：2015 年度認定施設認定審査

主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の更新認定と新規認定審査  
2. 新規申請施設さかのぼり承認について  
3. データベースを利用した報告書の問題点について  
4. 学会発表における演者順位の要件について

活動の概要：1. 本年度の認定施設・教育関連施設の更新および各新規申請の審査結果は次の通りである。

i) 認定施設更新申請は 311 であり、うち 300 が更新認定された。8 施設は教育関連施設への転換、3 施設は資格取り下げとなった。

ii) 教育関連施設更新申請は 171 施設であり、うち 143 施設が更新認定された。16 施設は認定施設へ、1 施設は教育関連施設美容外科から教育関連施設への昇格が承認された。11 施設は資格取り下げとなった。

iii) 新規認定施設申請は 18 施設であり、うち 18 施設が認定された。

新規教育関連施設申請は 29 施設であり、うち 29 施設が認定された。

2. 新規申請施設さかのぼり承認について

2015 年度の新規申請の 3 施設①名古屋市立大学病院形成外科（新規認定施設）、②琉球大学医学部附属病院形成外科（新規教育関連施設）、③国立病院機構水戸医療センター形成外科（新規教育関連施設）については、従来登録歴がある施設であるため 2016 年 4 月から新規（再）認定となる（研修期間に認められる）。しかし、これら 3 施設はすでに 2015 年度より新教授・准教授、診療部科長が赴任して稼働しており、また、細川理事長の全国の医育機関すべてに形成外科を設置するとの方針に鑑み、2015 年 4 月にさかのぼって施設登録（研修期間）を認めることになった。

3. データベースを利用した報告書の問題点について

2015 年度審査において年間手術数が不足する更新施設に対して通告したところ、レーザー治療件数、静脈麻酔の入力ミスなどの理由申立てがあった。木股委員（前データベース委員長）の指摘により、データベース管理部会・前川委員長に問い合わせを行い、正しい入力の方法を確認するとともに、今後同様の入力ミスが起こらないように注意を喚起することになった。

4. 学会発表における演者順位の要件について

形成外科に関する教育研究活動の報告において、論文発表では所属医師が筆頭著者であることが求められているが、学会発表では明確な規定がない。学会発表においても「原則として」筆頭演者である

必要がある旨を手引きに明示することになった。

## 研修プログラム作成部会

部 会 長：清川 兼輔

委 員 員：王丸 陽光、多久嶋亮彦、田中 一郎、西野 健一、深水 秀一

開催年月日：①平成 27 年 4 月 10 日、②平成 27 年 10 月 9 日その他適宜メール委員会

主 な 議 題：研修プログラムのモデルプログラムの作成

活動の概要：日本専門医機構へ提出するためのモデルプログラムの修正について、メールのやり取りを頻回に行った。そして日本専門医機構より承認されたモデルプログラムを形成外科領域研修委員会に提出した。